

# 高槻南と言う学校をよく知ってください

## この伝統と実績

高槻南高校という学校をよく知って廃校にするといったのでしょうか？このような提案をしたのは一体誰なのでしょう？高槻南高校が、こういう学校とわかって提案したとしたら、教育者としてのスタンスが問われるでしょう。

高槻南高校は、大阪北部地域の2学区において中堅の学校として根強い人気を持っています。学力面では、中堅上位の生徒が学んでいるといわれています。授業風景は、静寂な雰囲気を保ち展開され、文化・スポーツ活動は大変活発で熱気に満ち、生徒の参加意欲も高い学校だということは、学校関係者の等しく認めるところです。

今秋の軟式野球大阪府大会で今夏の全国優勝チーム PL 学園を破り決勝進出を決め、去る10月27日、大商学園に3対2で敗れたものの準優勝を遂げました。これまでも府大会優勝5回を誇っています。(後述、廃校案決定後、大阪府大会では、PLなどを破り、2回優勝。)

とりわけスポーツ関係部活動の活発さでは、硬式・軟式テニス部、バスケット・バレー・陸上・バドミントン・ラグビー・水泳・体操などの各部も近畿・大阪トップレベルの実績を誇っています。サッカー部も全国高校総体出場、近畿大会優勝・準優勝の常連校として、オリンピック候補選手や全日本ユースの代表を輩出してきました。軟式テニス部は、平成2年に世界ジュニア選手権で男子が優勝の栄冠を勝ち取っています。直近の99年度も、体操では、高校総体1位(女子種目別平均台)、総合4位、(女子個人総合)、女子団体総合優勝(女子)、男子団体総合6位(男子)、府立高校大会こうしてスポーツ系では、公立においては群を抜いた存在として広く知られているのが高槻南高校なのです。

昭和47年に開校し、昭和51年に第1期生が卒業して以来、卒業生は1万3千名近くに及び、平成14年には創立30周年を迎えます。学区中堅校という位置にふさわしく卒業生の進路も、大学教官、医者・薬剤師、小・中・高校教員、企業経営者・幹部、法曹、国家・地方公務員、マスコミ・芸能界、各種スポーツ界など、多面的な分野で活躍する有為な人材を多数輩出しています。平成13年度現在、大学短大の大学の指定校推薦は四年制でおよそ40大学・70名、短期大学で約30短大・100名に及び、関西の有力な私立大学を網羅しています。高槻南高校の生徒たちと教職員が築きあげた進路保障のこれらの実績は高槻南の貴重な財産です。このような意味で2学区でも、府下でも際立った「特色をもった学校」のひとつだといえるでしょう。

学校生活スタイルが多様になる単位制高校になれば、これらの伝統や実績は継承される保障はゼロです。部活はもちろんのこと、進路保障でも「発展」どころか全面的後退です。(高校教育インス、号外より)